

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年12月6日(2012.12.6)

【公表番号】特表2011-519919(P2011-519919A)

【公表日】平成23年7月14日(2011.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2011-028

【出願番号】特願2011-508434(P2011-508434)

【国際特許分類】

C 0 7 D 233/84 (2006.01)

C 0 7 D 405/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/4178 (2006.01)

C 0 7 D 409/04 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

C 0 7 D 311/58 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

C 0 7 B 53/00 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 233/84

C 0 7 D 405/04

A 6 1 K 31/4178

C 0 7 D 409/04

C 0 7 D 487/04 1 3 8

C 0 7 D 311/58

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 9/10

C 0 7 B 53/00 B

C 0 7 B 53/00 G

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月2日(2012.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

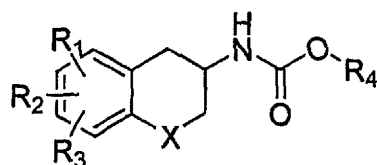
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

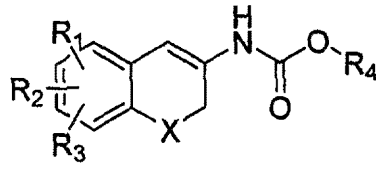
式Aの化合物のS又はR鏡像異性体の製造方法であって、

【化1】



A

式Bの化合物をキラル触媒及び水素源の存在下で不斉水素化させることを含み、  
【化2】



式中XはCH<sub>2</sub>、酸素又はイオウであり；R<sub>1</sub>、R<sub>2</sub>及びR<sub>3</sub>は、同じであるか又は異なり、水素、ハロゲン、アルキル、アルキルオキシ、ヒドロキシ、ニトロ、アルキルカルボニルアミノ、アルキルアミノ、又はジアルキルアミノ基を表し；かつR<sub>4</sub>は、アルキル又はアリアルであり；ここで用語アルキルは、任意にアリアル、アルコキシ、ハロゲン、アルコシカルボニル、又はヒドロシカルボニル基によって置換された炭素原子1～6個を含む直鎖又は分枝の炭化水素鎖を意味し；用語アリアルは、任意にアルキルオキシ、ハロゲン、又はニトロ基によって置換されたフェニル又はナフチル基を意味し；及び用語ハロゲンは、フッ素、塩素、臭素、又はヨウ素を意味し、ここで該キラル触媒は、ToIBINAPのS又はR鏡像異性体である配位子を含み、かつ該反応は70 より高い温度から100 までの温度、0.05～0.2%の濃度の酸の存在下で行われる、前記製造方法。